

2023年3月・山梨学院大学 iCLA 学部卒 ボンチャイさん

株式会社サンキムラヤ 入社

1. 自己紹介

私は2023年春に国際リベラルアーツ学部を卒業した、グローバルビジネス・経済学専攻の学生です。また、英語では「valedictorian」と呼ばれる、卒業代表でもあります。私の使命は、知識とスキルを活かして革新的かつ持続可能なビジネスをサポートし、人々の生活に意義ある貢献をすることです。現在、私はアメリカを拠点とする認定中小企業コンサルタント協会「Association of Accredited Small Business Consultants - AASBC」のメンバーであり、その認定試験に合格し、認定中小企業コンサルタント



「Accredited SME Consultant - ASMEC®」として資格を取得しています。私の関心分野は、企業の運用効率を最大化することです。これは、日々の運用活動(生産や運用管理など)の見直し、企業戦略、財務諸表、およびビジネスの他の側面の検討を通じて実現できます。

2. 山梨学院大学で勉強した内容や経験したこと

学業中の私の専門分野は、非常に理論的かつ抽象的なマイクロ経済学でした。私は非常に初級から中級、さらに上級の学部課程に関連するマイクロ経済学の授業を受講し、効用、価格、ゲーム理論などの多くの概念に深く入り込みました。この理論的な枠組みは、ビジネスにおける運用効率の最適化や利益最大化を理解する基盤として非常に役立ちました。経済学以外にも、企業戦略と財務に関する上級の学部課程も受講し、再び、これが運用管理をより良く理解するのに役立ちました。

3. 現在どのような仕事をしているか、日本企業に就職して得たものや成長したことは何か

私は今、製パンメーカーである株式会社サンキムラヤで自分の学歴や使命に合った仕事をしていることに非常に満足しています。私の仕事内容の一つは、生産の領域で運用効率を最大化することに貢献することです。会社に入社する前は、私は非常に理論的な人間でした。マイクロ経済学ではビジネスの非常に小さな側面を研究すると思っていましたが、実際の世界ではそれよりもさらに小さな要素があり、教材ではカバーされていないことがたくさんあります。たとえば、私は現在の会社で現場にも行き、生産には私が考えたり学んだことのなかった多くの小さな要素や動く部分があることを観察しました。これは非常に価値のある経験であり、特に理論と現実世界のバランスを取る方法を助けてくれました。成長に大いに貢献したと思います。

4. 将来の夢や目標

私は学び続けることをやめません。仕事が忙しい日であっても、毎日本を読みます。私の目標は、私の関心分野である運用管理の世界クラスの専門家になることです。近い将来、私は経済学の非常勤博士課程に申し込む予定であり、仕事をしながら研究を行い、現実の経験を積みながら研究を進めることができます。私の研究の領域は、運用管理に関するものであり、これにより、以前に述べたように、企業を通じて人々の生活に意義ある貢献をするという私の使命の前進に貢献すると信じています。これはまた、学問への貢献にもなる可能性があり、私は非常に興奮しています。

5. 後輩へのメッセージ

学び続けることを決して止めないでください。